

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

学生が実演や食育推進活動で市民と交流

塩尻企業EXPOで本学をPR

公益社団法人塩尻青年会議所主催の「塩尻企業EXPO」が5月31日(土)、塩尻市立体育館で開催され、本学は地域を志向した大学としてPRブースを出展した。第4学年の学生有志が歯科材料を使った模型作成の実演によって歯科への興味を誘い、むし歯予防の啓発活動も行った。また第1学年生は食育推進に関するプレゼンテーションを行うなどして、訪れた市民の方々と交流した。

塩尻企業EXPOは、塩尻市周辺の企業・団体のことをもとよく地域住民に知ってもらい、青少年の将来の職業選択の一助となるよう初めて企画された。約30の企業や団体などが出展して業務内容を紹介し、体験コーナーもあって大勢の来場者が楽しんだ。本学ブースでは、第4学年の春日美理衣さん、日置崇史君、藤田悠君、船岡勇介君、八百枝広君、山村莉依さんの6人が、歯科材料のアルジネート印象材や石膏を使って、訪れた人の指の模型をつくる体験コーナーを担当した。学生たちは来場者に、歯科では歯の詰め物や被せ物の製作、矯正治療などで歯を印象採得し、型に石膏を流して歯の模型を作っていることを話してから、「では、その歯科材料はどんなものか体験してみましよう」と、希望者を募って指の石膏模型づくりを行った。親子連れや児童らにやさしく話しかけ、ときには歯科に関する質問に答えながら、ラバーボールに入れたアルジネート印象材を慣れた手つきで練り、カップに入れた印象材に指を入れてもらって印象を採得した。石膏を流し込んで固まるまでは、スライドでむし歯の原因や予防法、治療の流れなども解説した。



本学PRブースで来場した児童の指の印象を採得する学生たち

約40人の来場者が石膏模型づくりを体験し、精巧に仕上がった等寸大の指型を手にして喜んでいった。八百枝君は「訪れた人に喜んでもらえて良かった。地域の方々とコミュニケーションでき、松本歯科大学のことを身近に感じていただけたと思います」と話していた。



噛むことの大切さをプレゼンした第1学年生

また、教養教育科目・オープンセミナーで「食育を地域に広める」を選択している第1学年12人は、総合歯科医学研究所顎口腔機能制御学部門・増田裕次教授の指導のもと学外授業の一環として食育推進や噛むことの大切さに関するプレゼンテーションを行った。学生たちは問題解決型学習によって得た知識をスライドで示し、パートごとに分担しながら発表を行った。午前の部では「皆さんはどんな食べ物が好きですか?」と問いかけ、ハンバーガーやコーラ、アイスクリームなどのカロリー値を提示。「食べ物の栄養やカロリー値を意識して適切な量を摂取してください。健康な食生活を送るためには一日三食、できるだけ決まった時間に食べるようにし、活力に満ちた一日を過ごしましょう」と呼びかけた。午後の部では、よく噛んで食べることが健康長寿につながることを訴えた。

最初は緊張してぎこちなかったが、第4学年の先輩から「もっと大きな声で、聞いてくれる人たちの顔を見ながら話すように」とのアドバイスを受けてからは、説得力のあるプレゼンテーションができるようになった。発表した椎名哲郎君は「学外に出てこうした場で発表することで知識の再確認ができ、歯科医学生として食育推進活動に関わった充実感を味わえました」と話し、社会貢献の大切さを実感していた。

口腔生化学講座・宇田川信之教授 ユーラシアリウマチ会議で招待講演 歯槽骨再生の新治療法を解説

6月5日(木)から3日間にわたり、ロシア連邦共和国モスクワにて開催されたユーラシアリウマチ会議にて、口腔生化学講座の宇田川信之教授(学長補佐)が招待講演を行った。本会議は、第9回GARN会議(グローバルリウマチネットワーク会議)との共催として、ユーラシア大陸を中心とした日本を含めた世界20カ国からの医師・歯科医師・基礎系研究者が

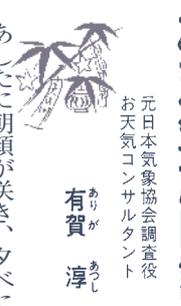
集まり開催された。会議は、本学を訪問した経験もある坂口力元厚生労働大臣(三重大学医学部卒業)を会長として開催され、ヤノシユビツチ学長(モスクワ国立医科大学)と西岡久寿樹教授(東京医科大学医学総合研究所長)がプログラム委員長として準備にあたった。本会議において、宇田川教授は「リウマチ学と歯学との接点」というシンポジウムのなかで「歯槽骨再生のための新規治療法に関する基礎研究」について講演した。日本側からは、宇田川教授の他に、リウマチ臨床医でもある高柳広教授(東京大学医学部免疫学)が「骨免疫学オーバービュー」と題した講演を行い、ロシア側からは3人の歯科医師が「口腔インプラント、骨粗鬆症、歯髓組織を用いた再生医療」について講演し、活発な討論が行われた。ヤノシユビツチ学長は歯科医



モスクワで講演した宇田川教授(右)、左は高柳教授

あしたに朝顔が咲き、夕べに月見草がおう7月。しかし、梅雨明けまでは集中豪雨の降りやすい危険な時期でもある。谷崎潤一郎の小説「細雪」の背景となった阪神地方の集中降雨は1938(昭和13)年7月5日。梅雨末期の豪雨だった。梅雨は一度大雨の洗礼を受けないことには明けぬことが多い。昨年5日に西日本を中心に豪雨が降り、大きな災害が発生した。そして翌6日には一気に列島は猛暑となり、山梨県甲府市ではいきなり39度8分の高温を記録。例年より早い真夏の到来となった。しかし「戻り梅雨」も激しく、18日には東北に豪雨が降り出し、鶴岡市では一時間64.5ミリという凄まじい雨量を記録。月後半には山口県、島根県に豪雨。23日には東京で一時間100ミリの豪雨。東北では7月末まで大雨が続いた。とうとう気象庁は「今までに経験したことのない豪雨」と異例の発表をした。明治8年観測開始以来のことだった。それに史上初の猛暑と、記録づくめの7月となった。今年も梅雨明けが待ちどおしいが、平年の梅雨明けは中旬ごろが多い。小・中学校の夏休みまでには明けてくれることだろう。暗い梅雨空から明るい真夏の季節にパッと変わるのが気持ちがいい。高山にはさまざまな生命がうごめき始め、アルプスの名花エーデルワイス(うすゆきそう)などいっせいに花をつけ始める。里ではやがてアブラゼミが鳴き、次いでヒグラシ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミが鳴きだして暑さをかきたてる。

お天気歳時記



元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント
あり賀 淳し

主張

夏には山へ行こう

わが松本歯科大学は、日本の「最高学府」である。かつては山梨県都留市の都留文科大学がそのように称していたが、キャンパスの標高は約5百メートルに過ぎず、約7百メートルの本学の足下にも及ばない。

この高原の透きとおった光と風の爽やかさを満喫できるのが、これからの季節だ。「日本の屋根」北アルプス連峰には、まだ残雪の輝きも残っている。山岳展望のすばらしさも、当地の誇りのひとつだ。居ながらにして、北は白馬、鹿島槍、五竜、爺、常念、穂高などの雄峰を眺めることができる。

い。ほど近い塩尻峠の展望台に立つならば、北アルプスのみならず、中央アルプスや南アルプスの山々、富士山や八ヶ岳連峰なども一望のもとだ。

ところで、若い諸君には、眺めるだけではなく、ぜひ自分の足で登って欲しいと思う。

昔の旧制松本高校には、信州の山々に魅せられた多くの若者が、全国から集まってきた。同校山岳部の活動は、昭和初期の日本登山史にきらめくような記録を残して、井上靖の小説「氷壁」の舞台にもなった奥の松高ルン

しかし、梅雨明けからの夏山の一般コースなら、登山道や小屋も整備されているから、危険を心配することはない。それでも、まったくの初心者、経験者に同行してもらおうのが無難というものだろう。学内にも山登りのベテランは少なくないから、遠慮せずに相談してみるとよい。登山愛好者には気のいい人が多く、親切に教えてくれるはずだ。

深い針葉樹林のなかのフィトンチッドの香り、渓谷の流水から飛散するマイナスイオン、そして登りついた稜線のお花畑を

た。食べ物が何かを知らされず口にした学生は「何を食べさせられるのか怖かった」「まず唇で触れてみた」「匂いを嗅いでみた」などと感想を述べた。それを受けて堀先生は「人間は五感を総動員してものを食べるということが分かったと思います。そこにさまざまなヒントがあります」と話し、例えば要介護者に対して食事を介助するとき、食べ物を目で認知できるように下のほうから差出す、スプーンで唇を触れてこれから口に入れるという合図する、などの細かい気遣いが信頼関係を生むことなどを説明した。

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

吹き渡る風のさわやかさ...これらは自分の足で登ることによってしか味わうことができない。日本の屋根を間近に仰ぐ土地で青春の数年間を過ごすからには、3千メートルの光と風を肌で感じる機会をぜひ作るべきではないだろうか。

① 木曾駒ヶ岳 2931m
伊那では「西駒」と呼ばないと叱られる。2千6百メートルの千畳敷までロープウェイで上れるので、2時間ほどで駒ヶ岳山頂に立てる。とくに危ないようなところはないが、反対側に聳える宝剣岳は岩峰なので初心者にはやや手こわい。シーズン中はロープウェイがかなり混雑する。

② 乗鞍岳 3026m
2千7百メートルの畳平までバス(自家用車は入れない)で行ける。最高点の剣ヶ峰まで2時間弱。最も手軽に登れる3千メートル峰だ。

③ 燕岳 2763m
中房温泉から登り5時間弱で、松本平の中学生が日帰りで集団登山する山だが、頂上の燕山荘に泊るつもりなら、北アルプス3大急登の合戦尾根ものんびり登れる。燕山荘は立派な雲上ホテルで生ビールも飲める。健脚者には、さらに大天井岳から槍ヶ岳まで縦走して槍沢を上高地へ下る2泊3日の「アルプス表銀座コース」を勧めたい。

④ 白馬岳 2932m
白馬駅前からバスで終点の猿倉下車。登山口でアイゼンを借りて、日本3大雪渓のひとつ「白馬大雪渓」を登る。シーズン中は染料でコースが表示されているし、登山者が行列してもいるから、迷う心配はない。蘆平から稜線にかけては美しい高山植物のお花畑となっている。頂上直下の白馬山荘まで6〜8時間かかる。下山路は白馬大池を経由して柵池自然園に向かうと、ロープウェイが利用できる。楽だが、蓮華温泉へ下るルートもある。(笠原 浩)



た。食べ物が何かを知らされず口にした学生は「何を食べさせられるのか怖かった」「まず唇で触れてみた」「匂いを嗅いでみた」などと感想を述べた。それを受けて堀先生は「人間は五感を総動員してものを食べるということが分かったと思います。そこにさまざまなヒントがあります」と話し、例えば要介護者に対して食事を介助するとき、食べ物を目で認知できるように下のほうから差出す、スプーンで唇を触れてこれから口に入れるという合図する、などの細かい気遣いが信頼関係を生むことなどを説明した。

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

歯科は生活を支える医療
第2期生・堀章一先生が第1学年に講義



「歯科と食」をテーマに講義する堀先生

第2期生の堀章一先生(笠間市開業)が5月21日(水)、第1学年の「学びへの歩み」において講義を行った。堀先生は、1997年から「楽食」の研究・普及活動を行い、多方面で活躍されている。

授業では「歯科と食」をテーマに、食べるという観点から歯科医師として何が出来るかを解説した。はじめに、学生を2人組にして、目をつぶった学生がもう一人の学生から食べ物を食べさせてもらう実験を行っ

た。食べ物が何かを知らされず口にした学生は「何を食べさせられるのか怖かった」「まず唇で触れてみた」「匂いを嗅いでみた」などと感想を述べた。それを受けて堀先生は「人間は五感を総動員してものを食べるということが分かったと思います。そこにさまざまなヒントがあります」と話し、例えば要介護者に対して食事を介助するとき、食べ物を目で認知できるように下のほうから差出す、スプーンで唇を触れてこれから口に入れるという合図する、などの細かい気遣いが信頼関係を生むことなどを説明した。

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

た。食べ物が何かを知らされず口にした学生は「何を食べさせられるのか怖かった」「まず唇で触れてみた」「匂いを嗅いでみた」などと感想を述べた。それを受けて堀先生は「人間は五感を総動員してものを食べるということが分かったと思います。そこにさまざまなヒントがあります」と話し、例えば要介護者に対して食事を介助するとき、食べ物を目で認知できるように下のほうから差出す、スプーンで唇を触れてこれから口に入れるという合図する、などの細かい気遣いが信頼関係を生むことなどを説明した。

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

また、「楽食」の活動事例を紹介。楽食とは、摂食機能(義歯や嚥下障害)や代謝機能(糖尿等)に障害のある人が食料や調理の工夫によって家族と

学生がグレートス君に扮してボランティア活動
健全な心身と人間性育む「食育」をPR



着ぐるみで子どもたちと握手し食育月間をPR

6月8日(日)、第1学年学生5人(和泉 遼君、山田蘭子さん、仲座海希さん、吉田拓真君、築岡由希絵さん)は「食育月間」をPRするため、塩尻市食育イメージキャラクター「グレートス」君に扮して市内のショッピングセンターでボランティア活動を行った。グレートスとは、市を象徴する2大産物・グレイプ(ぶどう)の「グレイ」と、レタスの「タス」を合わせて名付けられた。

毎月19日を「食育の日」と定め、食を通じて健全な心身と豊かな人間性を育むための「食育」を国民運動として推進している。また、塩尻市では同日を「家族そろっていただきますの日」とし、「家族みんな」で「食」につ

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

緒に楽しく美味しく食べられる食事という。堀先生は、介護食と健康食の中間に位置する楽食レシピの考案や、カロリーを抑えたフレンチの提案、障害者でも扱いやすい食器の開発、食を出発点にした生活環境デザインと健康な町づくりなどに積極的に関わり、行政や歯科衛生士、栄養士、保健師、陶芸家、調理師など他職種の人たちとのチームアプローチによって成果をあげてきた。「歯科はさまざまな分野に貢献できる職種。医師は生命を支える医療ですが、歯科は生活を支える医療です」と話し、歯科医師が社会に果たす役割は大きいことを示唆した。

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

調査を行った。ボランティアを終えた学生は、「なかなか家族全員がそろうことはできないが、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践していきたい」と感想を述べていた。

27柱のご尊霊に感謝し
日々の研鑽と社会貢献誓う
第41回解剖諸霊位慰霊祭



感謝と誓いの言葉を述べる亀田さん

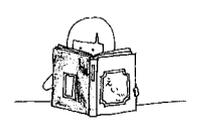
第41回解剖諸霊位慰霊祭が6月14日(土)、本館7階講堂で執り行われた。ご遺族、ご来賓53人、本学法人役員・教職員ら約50人、第1学年から第3学年までの学生約400人が参列。解剖学実習のために献体いただいた27柱のご尊霊に対し安らかな冥福をお祈りし、歯科医学の発展につなげることを誓った。

長谷川博雅歯学部部長は「医学・医療の歴史を顧みますと、その発展は人体のさまざまな臓器の形態と機能を明らかにすることから始まりました。今日もなお、複雑化する疾患や治療に対して、一般解剖学や病理解剖学の知識はその必要性が強く認識されており、ご遺体が提供される意義と人類への貢献に思いをいたし、医学・歯科医学の発展に対する深いご理解の感謝と誓いの言葉を述べた。

「ご尊霊とご協力くださったご遺族の皆様深く感謝いたします」と、謹んで祭文を捧げた。続いて参列者一人ひとりが祭壇に向かい焼香し、手を合わせた。学生代表の亀田明希さん(第3学年)は、「私たちは解剖学実習でご遺体に接し、実際に見て触れて学ぶことができる機会を与えてくださったことに感謝し、身のひきしまる思いをしました。実習が進むたびに、将来医療に携わる者として、この経験が必要不可欠であることを痛感しました。ご献体くださった方々をはじめ多くの方々に支えられて学んでいることを忘れてはならないかと言われたのがきっかけでした。その時、ちよつと葉をこすって香りを嗅いでみましたが、どうも違うような気がしたのです。それから私自身のペパーミント探しが始まりました。その結果、ホームストアなどで「ペパーミント」と表示がしてあっても、多くの場合、別の種類のミントであることがわかりました。

科学雑誌などによれば、本来のペパーミント(Mentha x piperita)はsterile(不稔)で、花が咲いても種子のできないタイプなのだそう。種苗会社によっては、「ペパーミント」の種として販売しているところもありますが、実は大部分はartificially bred(人工的に交配)された、香りが好ましくないスペアミントの一種だということです。

カールソンの
英語!!!



ご存知の方も多いかもしれませんが、6月現在スーパードラムが品切れになってしまっています。話によれば、4月に放映されたテレビ番組でクルミが健康に良いと紹介されたからだそうです。

そういえば、7年前ぐらいにも納豆が急にスーパーから姿を消したことがありました。その時もテレビ番組で体に良いと伝えられたためでしたが、時々私はWhat's Next?(次は何だろう)と思ってしまう。

手に入らないものと言え、私は今ある種のハーブに凝っています。知り合いの家でミントの苗を見せてもらい、ペパーミントではないかと言われたのがきっかけでした。その時、ちよつと葉をこすって香りを嗅いでみましたが、どうも違うような気がしたのです。それから私自身のペパーミント探しが始まりました。その結果、ホームストアなどで「ペパーミント」と表示がしてあっても、多くの場合、別の種類のミントであることがわかりました。

理事会報告

学校法人松本歯科大学の第170回理事会および第116・117回評議員会が5月29日(木)、創立30年記念棟3階「常念岳」の間で開かれ、各議案を審議し、満場一致で承認可決した。なお、前理事・監事は再任となり、向こう任期3年にわたり本学の法人運営を行う。



挨拶する矢ヶ崎 雅理事長・学長

会議事項および2013年度事業報告の概要は次のとおり。

【会議事項】
1. 2013(平成25)年度事業報告について
2. 2013(平成25)年度決算について
3. 寄附金品の受納について
4. 任期満了に伴う理事の選任について
5. 寄附行為第5条第2項に基づく理事長の選任について
6. 寄附行為第5条第3項に基づく常務理事の選任について

7. 寄附行為第14条 理事長職務の代理等について
8. 任期満了に伴う監事の選任について
9. 諸規程の一部改正について
10. その他

【2013年度事業報告概要】
〈I. 教育〉
1. 歯学部
(1)教育・カリキュラム
①新たな教育システムの検討
・教育効果の向上を目的に教育方法の改善を行った。
②カリキュラムの改善
・第4学年の授業科目を一部変更した。

③教育支援の強化
・教員と事務が連携するなど効果的な体制を整備した。
④教員組織の現状
・教員資質の維持・向上
・FD研修会を年6回実施。
⑤学生生活
①学生支援体制の強化
・三者面談(6月、9・10月)と留学生三者面談(2・3月)を実施した。
②経済的支援制度
・歯学部奨学金貸与・各種奨学金申請事務を行った。
③キャンパスイン(学生寮)における学生指導と意見交換を行った。
④学生募集
・第1学年96名、第2学年編入27名が入学した。

2. 大学院歯学独立研究科
(1)教育事業
①大学院教育の推進
・研究の進捗や学位論文作成等への対応を目的に導入科目4科目を開講した。
②大学院歯学独立研究科
・秋期入学、I期・II期試験等で7名が入学した。
③学生支援事業
・院生をティーチング・アシスタントとして採用し、学部教育の充実と院生の指導力向上を図った。

④研究発表会の開催
・研究テーマ発表会、中間発表会、大学院研究科発表会を開催した。
⑤研究経過報告書
・研究の進捗状況を把握し、研究活動をサポートした。
⑥学位授与
・標準修業年限での学位取得者14名他、論文提出等による学位取得者2名
⑦入学者選抜試験
・秋期入学、I期・II期試験等で7名が入学した。

⑧社会人学生への対応として授業をDVDに収録し配布したほか、メール等による個別指導を実施した。
・著名な研究者を招き、大学院セミナーを年間15回開催した。
⑨研究発表会の開催
・研究テーマ発表会、中間発表会、大学院研究科発表会を開催した。
⑩研究経過報告書
・研究の進捗状況を把握し、研究活動をサポートした。
⑪学位授与
・標準修業年限での学位取得者14名他、論文提出等による学位取得者2名
⑫入学者選抜試験
・秋期入学、I期・II期試験等で7名が入学した。

歯科矯正学講座・本藤景子院生が優秀ポスター賞

第24回日本顎変形症学会総会・学術大会

第24回日本顎変形症学会総会・学術大会が6月10日(火)と11日(水)、福岡市のアクロス福岡にて開催され、歯科矯正学講座の本藤景子院生の「骨格的下顎前突者のスマイル時の口唇運動の三次元解析」が日本顎変形症学会優秀ポスター賞を獲得した。

海外からの招聘も含めて参加者は780人を超え、特別講演、教育講演、日韓ジョイントシンポジウムに加えて、約60題の口唇運動の三次元解析の示説発表、100題以上の示説発表により、最先端の臨床・研究成果が発表された。今回の学術集会のテーマは「機能と美のシンフォニー」で、近年の顎変形症治療における機能的・審美的な改善を達成し、調和を図るための方策などについて活発な議論がなされ盛況な大会となった。

優秀ポスター賞を受賞した本藤院生の研究発表は、骨格性下顎前突患者のスマイル時の口唇の動きを三次元的に解析すること、従来の静的な評価ではなく、スマイルなどの動的な顔貌評価を三次元に行えることを示した。方法としては安静時とスマイル時の写真をステレオカメラで撮影し、三次元解析ソフトウェアを用いて立体構築し、スマイル時の口唇の動きと正面顎顔面形態の関連を解析

した。その結果、骨格性下顎前突症の偏位側と非偏位側の下顎骨の高さと下顎骨の幅の差は、スマイル時の口角と頬部の水平方向の動きに関連することが示された。
多くの演題のなかで、本演題が選ばれ受賞したことは、本学の矯正学の研究レベルの高さを感じさせた。表彰式で本藤院生は、多くの参加者がいるなかで、学会理事長の飯田順一郎先生から賞状を手渡され、拍手喝采を浴びていた。

(歯科矯正学講座 講師 倉田和之)



受賞を喜ぶ本藤院生(右)と山田教授

平成25年度資金収支計算書および平成26年度予算書

(平成25年4月1日~平成26年3月31日) (平成26年4月1日~平成27年3月31日)

Table with 3 columns: 収入の部 (Income), 平成25年度決算, 平成26年度予算. Rows include student fees, grants, and other income.

Table with 3 columns: 支出の部 (Expenditure), 平成25年度決算, 平成26年度予算. Rows include personnel costs, research expenses, and other expenditures.

貸借対照表

平成26年3月31日

Table with 3 columns: 資産の部 (Assets), 本年度末, 前年度末. Rows include fixed assets and current assets.

Table with 3 columns: 負債の部 (Liabilities), 本年度末, 前年度末. Rows include fixed liabilities and current liabilities.

Table with 3 columns: 基本金の部 (Reserve Funds), 本年度末, 前年度末. Rows include basic funds and consumption difference.

Table with 3 columns: 消費収支差額の部 (Consumption Difference), 翌年度繰越消費収入超過額, 消費収支差額の部合計, 負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計.

①新たな教育システムの検討
・教育効果の向上を目的に教育方法の改善を行った。
②カリキュラムの改善
・第4学年の授業科目を一部変更した。
③学生募集
・第1学年96名、第2学年編入27名が入学した。
④大学院歯学独立研究科
・秋期入学、I期・II期試験等で7名が入学した。
⑤学生支援事業
・院生をティーチング・アシスタントとして採用し、学部教育の充実と院生の指導力向上を図った。

⑥社会人学生への対応として授業をDVDに収録し配布したほか、メール等による個別指導を実施した。
・著名な研究者を招き、大学院セミナーを年間15回開催した。
⑦研究発表会の開催
・研究テーマ発表会、中間発表会、大学院研究科発表会を開催した。
⑧研究経過報告書
・研究の進捗状況を把握し、研究活動をサポートした。
⑨学位授与
・標準修業年限での学位取得者14名他、論文提出等による学位取得者2名
⑩入学者選抜試験
・秋期入学、I期・II期試験等で7名が入学した。

⑪健康増進口腔科学部門
・中国・山西医科大学との学術交流協定に基づき共同研究を実施した。
⑫第24回日本口腔衛生学会総会を本学主催で開催した。
⑬研究・開発
・国内外の共同研究・共同開発を17件行った。
⑭松本歯科大学衛生学院
(1)教育事業
①選択分野の科目履修によって医療事務(歯科)などの資格取得が可能になった。
②教育体制の強化
・早期に入学内定した学生に入学前教育を実施した。
③学生募集
①指定校の進路指導部との連携を強化した。
②入学者選抜試験を実施し、33名が入学した。
③長野県内歯科衛生士養成校4校連絡協議会で学生募集の働きかけを行った。

④健全経営
・管理会計の仕組みに基づいて予算の執行管理および集約を行った。
⑤知財管理・産学連携
(1)知的財産の管理
・実施料収入と特許権維持のバランスが悪化した案件の保有特許を整理した。
(2)産学官連携推進室による活動
①「地元企業の強みを知る」というテーマでFD研修会を開催した。
②塩尻市振興公社と連携して松本歯科大学・塩尻市産学官連携相談室を設置した。

⑥研究費の管理
・公的研究費に関する学内説明会を実施した。
⑦自己点検・評価
・学内規程の点検、データ収集、改善・向上方策の実施に取り組んだ。
⑧社会貢献
・知の拠点ワーキンググループの企画による市民公開講座(全5回)を開催し、多数の受講者を集めた。

⑨病院
・患者・家族の満足度
①患者からの要望への対応
・診療科長会や委員会等で患者からの声を周知し対応施策を検討実施した。
②インプラント治療体制の充実
・本学などが中心となり長野県歯科インプラントネットワークが発足し、病診連携を図った。
③業務体制、管理体制の整備
①データの保証
②データベースづくりを実践し、効率的運営をめざす基盤整備を行った。
③臨床研修医に対し文献検索ガイダンス、新入生に対して図書館利用説明・図書館ツアーを実施した。
④電子ジャーナルデータサービス等のトライアルを行い、利便性の周知を図った。
⑤図書館資料の整備
①図書資料の利用価値の低下した専門図書の除籍・廃棄を行い書架スペースを確保した。
②電子ジャーナルデータサービス等のトライアルを行い、利便性の周知を図った。
③図書資料の整備
①臨床研修医に対し文献検索ガイダンス、新入生に対して図書館利用説明・図書館ツアーを実施した。

④図書資料の整備
①臨床研修医に対し文献検索ガイダンス、新入生に対して図書館利用説明・図書館ツアーを実施した。

Alumni News

松本歯科大学校友会

先輩後輩との交流のひと時 静岡・滋賀合同県人会



静岡・滋賀・新潟県人会大集合

いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。宴たけなわになったところに突然、新潟県人会の皆さんが会場へ入って来られました。佐藤隆(6期生)新潟県支部長のほか、本学スポーツ歯科の鷹股哲也教授、中村浩彰教務部長、口腔解剖学第1講座の金銅英二教授もお見えになり、会場の熱気は一気に倍増しました。

私たちが県人会世話人も懐かしむ後輩らと話が弾みました。県人会がOB会のように感じるのは私だけでしょうか。卒業生が一番楽しめたことと存じます。もつと多くの卒業生にこのような先輩後輩の親睦の機会を設けていただけるよう、ここにお願い申し上げます。

また、遠方のご父母の方にも塩尻を訪れてご子女のご様子と大学の近況をご確認いただく良い機会としていただきたいと思っております。

(静岡・滋賀高県人会 4期生 西家孝) 本学出身の仲間のご子女でした。これには当時、一緒に希望に燃えて仕事をしていたころの多くの記憶が思い出され、世代を超えた縁を感じました。

世代を超えて絆を密に

愛知県人会

サツキツツジの花が鮮やかな6月8日(日)、塩尻市内のまとい館にて学生6人、愛知県からOBの先生6人、大学に在職の4人の先生計16人の参加で愛知県人会が行われました。

会の冒頭で鈴木康次先生(3期生)より学生への激励があり、口腔顎顔面外科科学講座の各務秀明教授からは愛知県人会の絆は密であり、県人会で得られる人脈は、在学中はもちろんのこと、卒業後に大いに役立つことが話されました。

乾杯の後、食事と歓談となり、学生たちと話すことができました。学生たちは、この時期のアルバイトのように清々しく、予想よりも自分の考えをしっかり持っていることが分かりました。

この会を通して学生の立場から見た講義内容の改善に関する大変貴重なヒントが得られ、われわれ職員としても大変有意義な時間となりました。さらに、数人の学生は、かつて一緒に働い

(口腔顎顔面外科科学講座 教授 藤原 遼)

学生支援を第一に考えた協力体制を

第43回父母会総会

第43回父母会総会は6月7日(土)川原一祐学監、長谷川博雅歯学部部長、高木宣雄病院院長、矢ヶ崎克彦法人主事、第1学年主任増田裕次教授、第6学年主任小笠原 正教授らご来賓出席のもと、7階講堂で開催された。



挨拶する川原学監

11時の総会に先立ち、早朝より、全国からの父母代表者8人と父母会参加が集まり、総会議事は理事会承認された。

総会に移り、高木伸治会長(5期生)は、「三者面談という日のお忙しいところ、父母会総会へ多数の参加をいただき、誠に感謝をしております。本年も定員を満たす入学者を迎えられて喜ばしいが、現在の歯科医師資格のハードルは日々高くなりつつあり、在学中は遊ぶことよりも勉学に集中し、歯科医師国家試験までの学習を無駄にしないでほしい。父母会では第一に学生

への支援を考えた事業計画を進めていくのでは是非とも協力いただきたい」と挨拶した。

続いて来賓挨拶として川原一祐学監は「大学・教員組織・父母会の三者は有機的に結合し共に歩みながら、歯学教育に励んでいきたい。歯科医師国家試験合格に至る道は、歯科医師にとってスタートラインに過ぎない。学生は単に覚えることを中心とせず、将来の歯科医療に役立つ知識として自ら習得してください。ご父母の皆様も三位一体の教育体制をご理解をいただきたい」と結ばれた。

大学院セミナー

「骨細胞はあらゆる面で様々な仕事をしている」

5月26日(月)に開催された大学院セミナーは、David M Findlay 教授(オーストラリア・アデレード大学・整形外科学)をお迎えし、骨細胞に関して「OSTEOCYTES: SOMETHING FOR EVERYONE」を演題に講演いただいた。

骨細胞は、骨量の維持に必要な分子として発見されたスクレロシンを発現しており、スクレロシンを介した骨調節機構が最近注目されている。Findlay 教授は、スクレロシンの発現制御機構についての基礎実験結果を示し、骨細胞が骨芽細胞による骨形成や破骨細胞による骨吸収に密接に関与していることを説明された。

また、破骨細胞が直接関係せず、未だ明らかとなっていない骨吸収である「骨細胞性骨溶解」の作用機構についての仮説も提示された。



David M Findlay 教授

Findlay 教授は、東京大学医学部や埼玉骨粗鬆症研究会などの講演の機会をぬって長野県入りし、黒部ダムや上高地を訪れ散策した後に本学を訪れた。

人事異動

- 〔配置換え〕 5月1日付 松尾 昌利 事務局長(兼) 学務部長(兼) 学務課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼)
- 〔退職〕 5月31日付 薄井 文子 事務局長(兼) 学務部長(兼) 学務課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼)
- 〔兼務〕 6月1日付 吉田 明弘 (健康増進部副部長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼) 学務課副課長(兼))

7月行事予定

- 6日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 12日(土) 第78回松本歯科大学学生会(総会)
- 13日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 20日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 22日(火) 30日(水) 前期定期試験(第4学年)
- 23日(水) 前期定期試験(第4学年)
- 24日(木) 25日(金) 大学院発表会
- 26日(土) 一日体験入学(歯学部)
- 26日(土) 27日(日) 一日体験入学(歯学部)
- 28日(月) 29日(火) 夏季休業(第1-3学年)
- 28日(月) 29日(火) 夏季休業(衛生学院)
- 31日(木) 8月19日(火) 夏季休業(第4学年)

大学生活をより有意義に

第1・第6学年三者面談

2014年度の前期の三者面談が6月7日(土)、図書会館学生ホールにて開催され、小雨



真剣な面持ちで面談する学生とご父母

Findlay 教授は、東京大学医学部や埼玉骨粗鬆症研究会などの講演の機会をぬって長野県入りし、黒部ダムや上高地を訪れ散策した後に本学を訪れた。

Findlay 教授は、東京大学医学部や埼玉骨粗鬆症研究会などの講演の機会をぬって長野県入りし、黒部ダムや上高地を訪れ散策した後に本学を訪れた。

内外の経済 6月26日付	
株価	
日本	15,266.61円
米国	16,867.51ドル
金地金店頭価格 (消費税込み)	
売り (1グラム)	4,696円
買い (1グラム)	4,611円
白金店頭価格 (消費税込み)	
売り (1グラム)	5,241円
買い (1グラム)	5,112円

東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3ヵ月物)	
米ドル	102.80円 0.01%
英ポンド	173.90円 0.10%
スイスフラン	115.05円 0.01%
ユーロ	139.75円 0.01%
タイバーツ	3.22円 0.10%
日本円	— 0.01%

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 7月 6日(日) ② 7月13日(日)
③ 7月20日(日) ④ 7月26日(土)

※7月開催分のみ掲載
開催時間 9:45~15:00(受付 9:15~)

- キャンパスツアー ●ランチ体験
- 模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページから申し込み、専用申し込みハガキを下記までご請求ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp